

# 厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 27 年 2 月現在)

## 1. 総括

### (1) 適用状況

- 平成27年2月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,274万人であり、前年同月に比べて、11万人（0.2%）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均(円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,863,007	36,016,818	22,946,411	13,070,407	308,583
船員以外	1,858,612	35,964,911	22,894,504	13,070,407	308,471
一般男子	・	22,893,903	22,893,903	・	349,883
女子	・	13,070,407	・	13,070,407	235,933
坑内員	・	601	601	・	341,225
船員	4,395	51,907	51,907	・	386,620
国民年金	・	26,728,177	9,060,388	17,667,789	・
第1号	・	17,164,225	8,867,885	8,296,340	・
任意加入	・	244,149	83,399	160,750	・
第3号	・	9,319,803	109,104	9,210,699	・
合計	・	62,744,995	32,006,799	30,738,196	・
人口	・	126,910,000	61,710,000	65,200,000	・
うち20～59歳	・	62,610,000	31,650,000	30,960,000	・
共済組合(平成26年3月末)	・	4,394,472	2,772,558	1,621,914	・

注1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月1日現在の推計人口(総務省統計局)である。

### (2) 給付状況

- 平成27年2月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,344万人であり、前年同月に比べて、48万人（1.1%）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

(単位：人)

	総数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	32,862,990	14,557,988	12,676,449	403,456	5,189,499	35,598
旧共済組合を除く	32,348,785	14,246,605	12,590,021	399,599	5,077,849	34,711
旧 法	1,756,510	692,529	565,905	45,743	418,336	33,997
新 法	30,556,427	13,538,125	12,021,235	352,441	4,644,626	・
(再掲) 基礎あり	21,513,963	11,428,366	9,778,190	230,207	77,200	・
基礎または定額あり	22,555,215	11,949,513	10,605,702	・	・	・
基礎繰上げあり	1,787,328	454,835	1,332,493	・	・	・
基礎繰上げなし	20,767,887	11,494,678	9,273,209	・	・	・
基礎及び定額なし	3,004,145	1,588,612	1,415,533	・	・	・
船員保険(旧法)	35,848	15,951	2,881	1,415	14,887	714
旧共済組合計	514,205	311,383	86,428	3,857	111,650	887
旧 法	179,910	136,693	5,369	1,639	35,322	887
新 法	334,295	174,690	81,059	2,218	76,328	・
(再掲) 基礎あり	249,129	171,616	75,607	1,816	90	・
国民年金 計	32,334,849	29,687,045	718,598	1,825,282	103,924	・
旧法拠出制	1,869,454	1,075,072	718,598	61,514	14,270	・
新法基礎年金	30,465,395	28,611,973	・	1,763,768	89,654	・
(再掲) 基礎のみ	8,151,371	6,617,130	・	1,507,309	26,932	・
福祉年金	761	761	・	・	・	・
合 計	43,435,508	32,645,812	3,541,250	1,996,715	5,216,133	35,598

注1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。（表3において同じ。）

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第1号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。（表3において同じ。）

○ 平成27年2月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、46兆8千億円であり、前年同月に比べて、5千億円（1.2％）増加している。

表3 制度別受給者年金総額

（単位：百万円）

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	25,589,130	17,689,569	2,385,321	296,639	5,208,338	9,263
厚生年金基金代行分除く	23,893,713	16,117,408	2,262,065	296,639	5,208,338	9,263
旧共済組合を除く	24,906,193	17,163,593	2,363,919	292,729	5,076,900	9,052
旧 法	1,881,741	1,177,081	212,900	53,323	429,567	8,870
厚生年金基金代行分除く	1,861,474	1,160,421	209,294	53,323	429,567	8,870
新 法	22,951,619	15,941,196	2,150,040	236,481	4,623,903	・
(別掲) 基礎年金	14,610,146	7,957,775	6,381,636	195,243	75,492	・
厚生年金基金代行分除く	21,276,469	14,385,695	2,030,390	236,481	4,623,903	・
船員保険 (旧法)	72,833	45,315	979	2,925	23,431	182
旧共済組合計	682,937	525,976	21,402	3,910	131,438	211
旧 法	362,462	315,840	2,520	2,488	41,403	211
新 法	320,475	210,136	18,882	1,422	90,035	・
(別掲) 基礎年金	183,033	126,607	54,839	1,499	88	・
国民年金 計	21,241,404	19,405,130	159,296	1,576,883	100,095	・
旧法拠出制	736,732	517,384	159,296	53,586	6,465	・
新法基礎年金	20,504,672	18,887,745	・	1,523,297	93,630	・
(再掲) 基礎のみ	5,431,607	4,097,540	・	1,306,867	27,200	・
福祉年金	301	301	・	・	・	・
合 計	46,830,836	37,095,000	2,544,618	1,873,522	5,308,433	9,263

注1. 年金総額には一部停止額を含む。

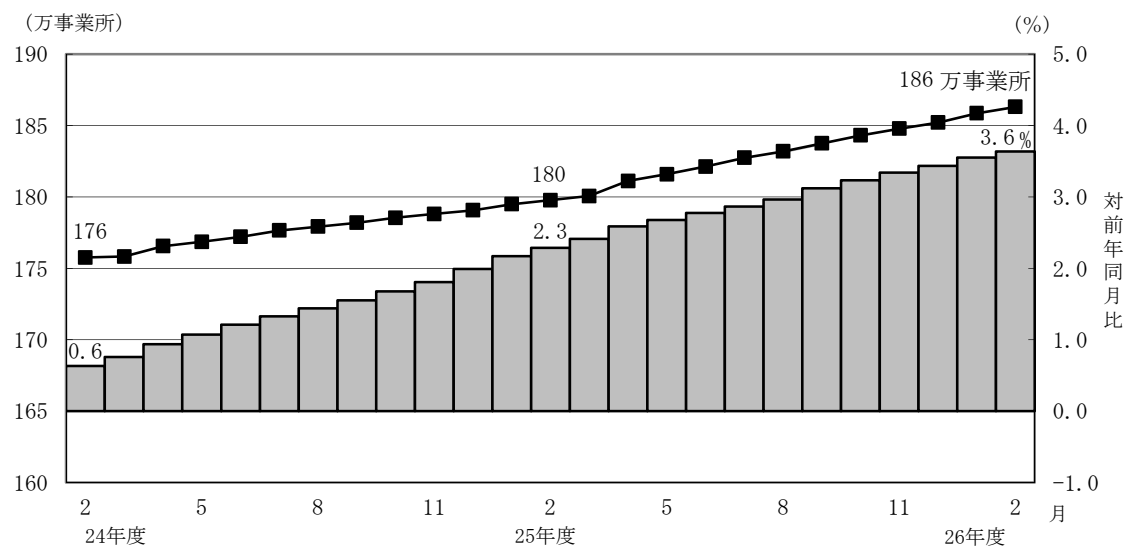
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

## 2. 厚生年金保険

### (1) 適用状況

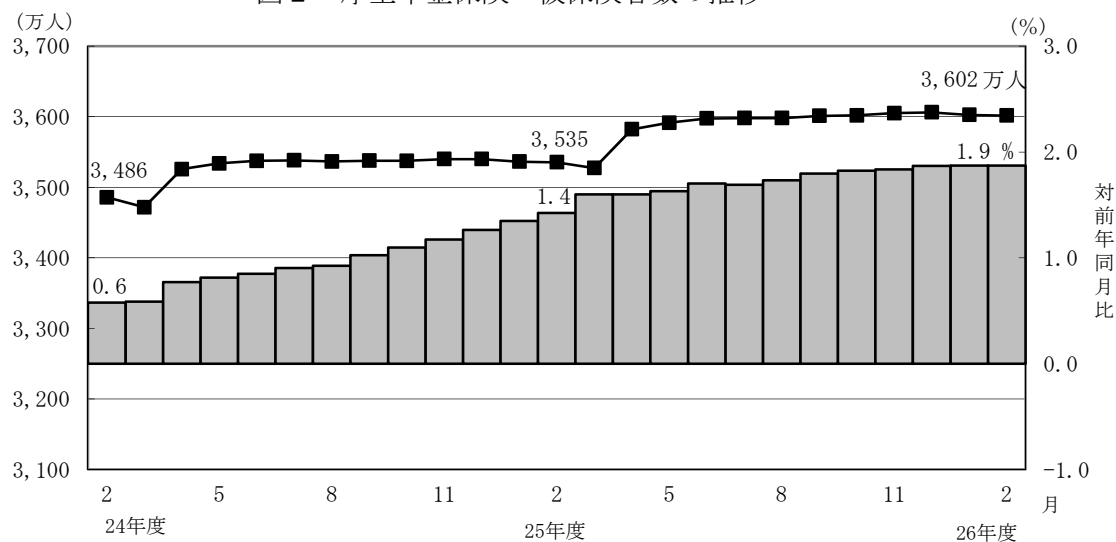
○ 平成27年2月末の厚生年金保険の適用事業所数は186万事業所であり、前年同月に比べて7万事業所（3.6％）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



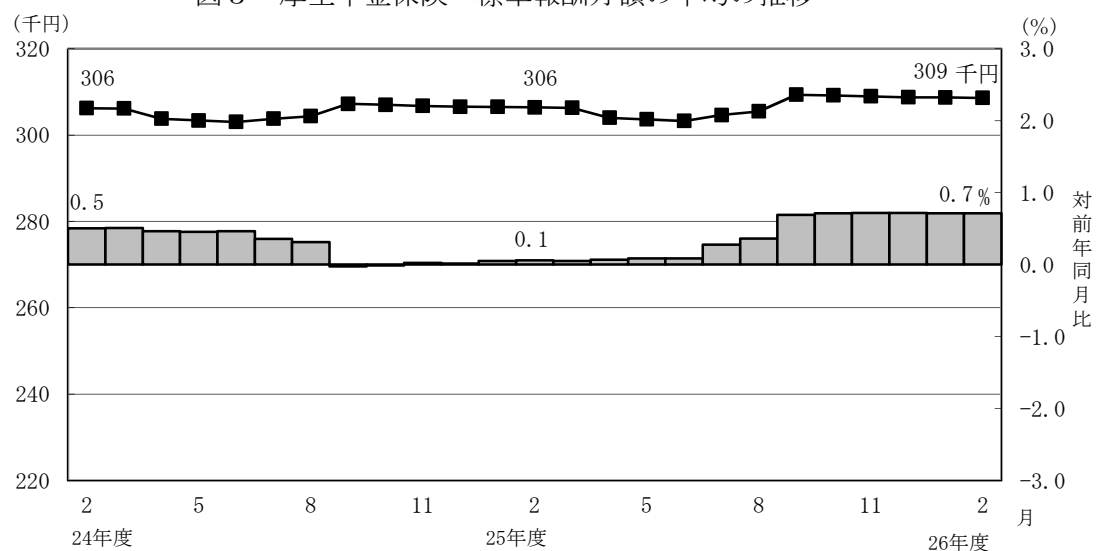
- 厚生年金保険の被保険者数は3,602万人となっており、前年同月に比べて66万人（1.9%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,289万人（対前年同月比34万人、1.5%増）、女子が1,307万人（対前年同月比32万人、2.5%増）、坑内員が6百人（対前年同月比1人、0.2%増）、船員が5万人（対前年同月比1百人、0.3%減）である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額額の平均は、30万8,583円となっており、前年同月に比べて0.7%増加している。内訳をみると、一般男子は34万9,883円（対前年同月比0.7%増）、女子は23万5,933円（対前年同月比1.0%増）、坑内員は34万1,225円（対前年同月比0.6%減）、船員が38万6,620円（対前年同月比0.8%増）である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額額の平均の推移

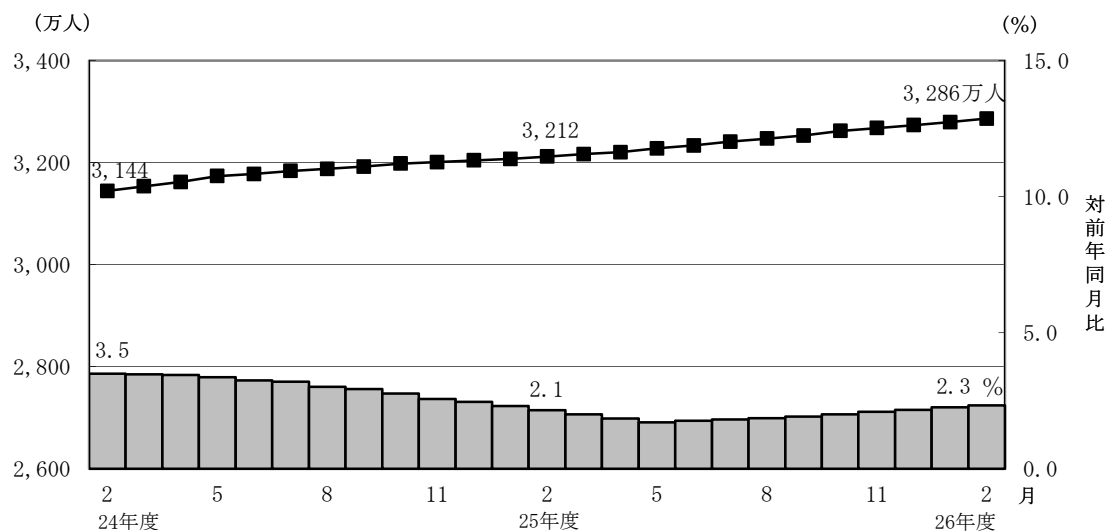


- 賞与支給事業所数は5万事業所、賞与支給被保険者数は78万人、標準賞与額の平均は25万5,960円となっている。

## (2) 給付状況

- 平成27年2月末の厚生年金保険受給者数は3,286万人（旧法厚年分176万人、新法厚年分3,056万人、旧法船保分4万人、旧共済分51万人）で、前年同月に比べて75万人（2.3%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,723万人（旧法厚年分126万人、新法厚年分2,556万人、旧法船保分2万人、旧共済分40万人）で、前年同月に比べて64万人（2.4%）増加している。
- 障害給付の受給者数は40万人（旧法厚年分5万人、新法厚年分35万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて6千人（1.6%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は523万人（旧法厚年分45万人、新法厚年分464万人、旧法船保分2万人、旧共済分11万人）で、前年同月に比べて10万人（2.0%）増加している。

図4 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成27年2月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万7,536円となっている。  
老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、8万1,388円である。

- 平成27年2月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は5万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は31万人となっている。

表 4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

	失 業 給 付								
	件数（人）			総停止年金額（千円）			平均停止月額（円）		
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26 年 9 月	68,504	49,038	19,466	45,112,900	40,992,557	4,120,344	54,879	69,661	17,639
10 月	63,138	44,419	18,719	40,847,107	36,880,728	3,966,379	53,912	69,191	17,658
11 月	61,427	43,062	18,365	39,579,335	35,681,574	3,897,761	53,694	69,051	17,687
12 月	59,159	41,640	17,519	38,289,154	34,573,356	3,715,798	53,935	69,191	17,675
平成 27 年 1 月	55,119	38,540	16,579	35,589,963	32,052,772	3,537,191	53,808	69,306	17,779
2 月	53,531	37,426	16,105	34,532,770	31,072,879	3,459,891	53,758	69,187	17,903

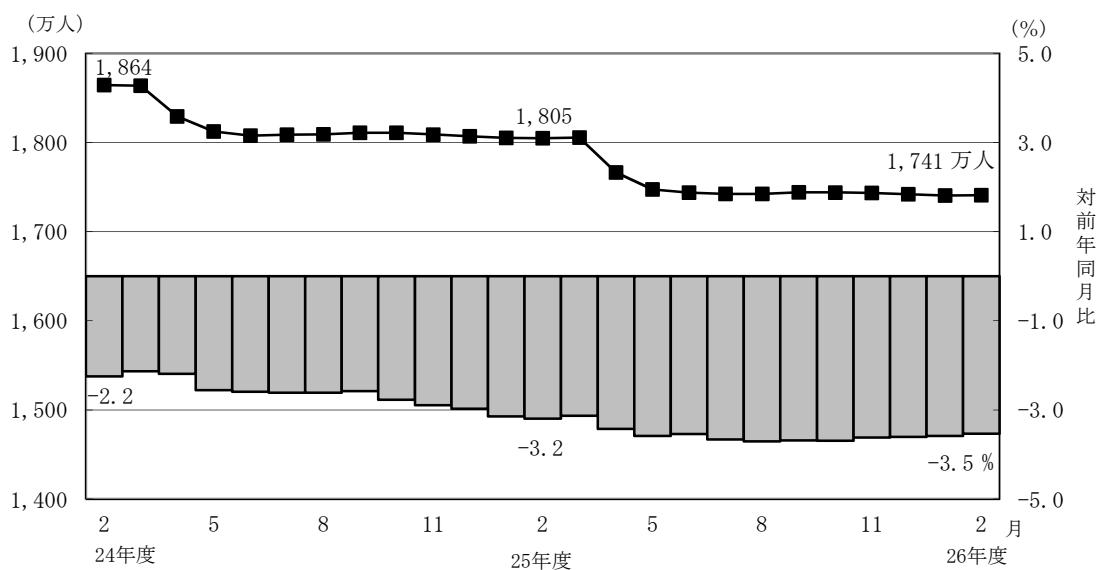
	高 年 齢 雇 用 継 続 給 付								
	件数（人）			高年齢雇用継続給付による停止総額（千円）			平均停止月額（円）		
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26 年 9 月	305,370	296,138	9,232	38,900,728	38,027,463	873,265	10,616	10,701	7,883
10 月	309,280	299,934	9,346	39,157,362	38,281,605	875,757	10,551	10,636	7,809
11 月	309,158	299,745	9,413	38,992,449	38,115,603	876,846	10,510	10,597	7,763
12 月	311,667	302,078	9,589	39,313,185	38,423,990	889,195	10,512	10,600	7,728
平成 27 年 1 月	310,106	300,702	9,404	39,248,694	38,367,896	880,798	10,547	10,633	7,805
2 月	307,616	298,248	9,368	38,969,751	38,095,884	873,867	10,557	10,644	7,774

### 3. 国民年金

#### (1) 適用状況

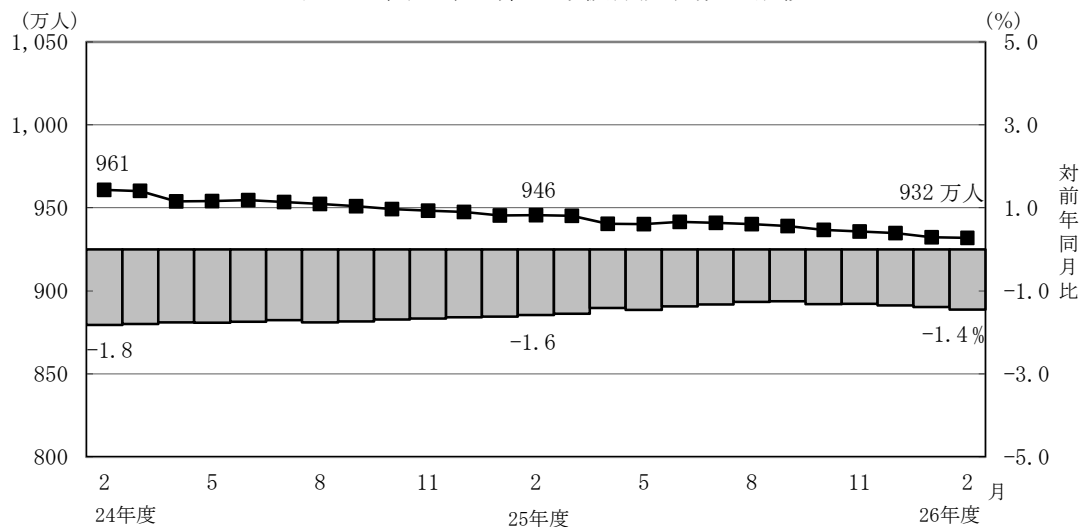
- 平成27年2月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,741万人となっており、前年同月に比べて64万人（3.5%）減少している。内訳をみると、男子は895万人（対前年同月比31万人、3.4%減）、女子は846万人（対前年同月比32万人、3.7%減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は932万人となっており、前年同月に比べて14万人（1.4%）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比2千人、1.4%減）、女子は921万人（対前年同月比14万人、1.4%減）となっている。

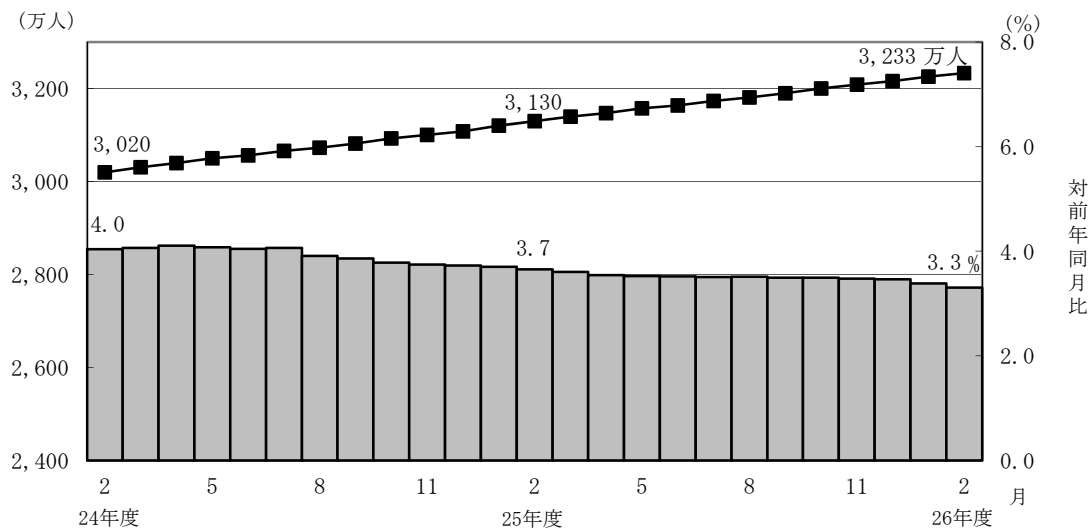
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



## (2) 給付状況

- 平成27年2月末の国民年金受給者数は3,233万人（旧法拠出制187万人、基礎年金3,047万人）で、前年同月に比べて104万人（3.3%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は3,041万人（旧法拠出制179万人、基礎年金2,861万人）で、前年同月に比べて101万人（3.4%）増加している。
- 障害給付の受給者数は183万人（旧法拠出制6万人、基礎年金176万人）で、前年同月に比べて3万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制1万人、基礎年金9万人）で、前年同月に比べて3千人（2.9%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成27年2月末で5万4,471円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万1,875円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、2月は新規裁定者1万9千人のうち繰上げ受給権者が2千人となっており、繰上げ受給率は10.8%である。なお、平成25年度新規裁定者の繰上げ受給率は14.4%となっている。